

令和2年度始業式の言葉

～校長たより～

R2. 4. 6

皆さん、進級おめでとうございます。

昨年度末から新年度の始まりにかけて、嘗て経験したことがない非常事態によって臨時休校が続き学校に制服を着て登校したのも本当に久しぶりだと思います。私も教員を35年やっていますがこんな事態は初めてです。

そんな中、今日から学年が変わり、学級が変わり、新しい先生方をお迎えして、令和2年度が始まります。学校生活から随分離れていたために、生活サイクルを学校モードにすることは大変な部分もあるかもしれませんが、後ほど紹介する学級担任の先生や、部活動の顧問の先生とともに、新たな気持ちでスタートできることを願っています。

新年度のスタートに当たって、今年度ぜひがんばってほしいことについて3つ話します。

一つ目は、「目標」を持つことです。榛原中学校の学校教育目標は「こころざしを育てる」です。これは2・3年生ならば理解しているはずですね。こころざしという言葉の意味は「心に決めて目指していること や 何をしよう、何になろうと心に決めること」です。このこころざしを育てるためには、常に目標を持った生活を継続していくことが大切になってきます。今年一年、学習ではどんながんばりをしますか？生活面で意識することは何ですか？部活動では何を目指しますか？新年度がスタートする大きな節目に『努力すればできる』目標を設定して、頑張っていってほしいと思います。

二つ目は、自分を鍛え、他を思いやる榛中生であれということです。今年の重点目標です。鍛えるというと苦しさや厳しさをイメージがちですが、自分自身で判断して主体的に活動できるようなたくましさを身に付けてほしいです。また「他を思いやる」では、友達の良さを認め合ったり、励まし合ったりしながらお互いを高め合っていける関係性を創り上げてほしいです。昨年の流行語に選出されたラグビー日本代表のスローガン「One Team」は皆さんもよく耳にしていると思います。メンバー一人一人が自分の特徴を最大限に発揮できるように鍛え上げ、それを Team として信じ合い、支え合ってひとつにまとまったからこそ、私たちに多くの感動を与えてくれました。まさにこの OneTeam の精神で榛中生が一回り成長できることを期待しています。

最後に「日々の当たり前を大切に」ということです。生徒会が誇りにしている5つ。すべてに『こころ』が付いていて、とってもいいですね。このあいさつ・服装・時間・清掃・合唱に対して心を込めて一生懸命行うことは榛中生にとって『当たり前』になってほしいです。そしてその当たりのレベルをみんなで少しずつ高めていってほしいと思います。

本年度はみなさんも御承知のとおり創立 50 周年を迎える年です。榛原中学校が誕生して半世紀が過ぎようとしています。私も含めた、数多くの榛原中卒業生がみなさんに期待していることは、中学生として当たりのことが自然にできることです。道であったら笑顔であいさつができる。中学生らしい服装で過ごせる。このような中学生らしさというのは普段の生活で当たりのことが当たり前にできることを地道に繰り返すことでつくられていきます。ぜひみなさんには普段の姿で示してほしいと思います。

皆さんの一層の頑張りを期待して、始業式の挨拶とします。